

SPAR2017J Speakers

M1 基調講演1 古橋 大地



青山学院大学 教授
NPO法人クライシスマップーズ・ジャパン 理事長
テーマ

市民による災害ドローン救援隊DRONEBIRD が切り拓く次世代の防災コミュニティ
発表概要

2016年に活動を開始し、日本全国の自治体と防災協定を結ぶなど、実効性のある仕組みづくりを着実に進めている災害ドローン救援隊DRONEBIRD の現在の状況とこれからの展開について、その活動を主導する古橋より報告させていただきます

自己紹介

東京大学大学院 新領域創成科学研究科 環境学修士。専門は森林リモートセンシング。地理空間情報の活用を軸に、Googleジオサービス、オープンソースGIS(FOSS4G)、オープンデータ(OpenStreetMap)の技術コンサルティングや教育指導を行なっている。

最近の主なプロジェクト:

JICA Project / ブラジル国アマゾン森林保全・違法伐採防止のためのALOS衛星画像の利用プロジェクト(Alos4Amazon: <http://alos4amazon.com/>)

世界防災減災ハッカソン Race for Resilience / Code for Resilience

M2 基調講演2 土方 聡



国際航業(株) 代表取締役 社長

テーマ

当社のi-Constructionへの取り組みと、来たるべき3次元空間情報利活用社会の姿(仮)
発表概要

建設分野では3次元データを駆使した情報化施工の導入が進んでおり、国土交通省も工事の全工程で3次元データを活用する「i-Construction」の取り組みを本格化させている。国際航業は、i-Constructionをサポートするため、ドローンの安全運行と計測技術を学ぶ「ドローンスクール」とその受講者が利用できる「3次元空間解析クラウドサービス」の提供を始めた。

2018年度から準天頂衛星が4機体制になるなど、測位・測量をめぐる環境が大きく変わりつつありある。すぐそこに迫っている、3次元空間情報利活用社会の姿と、そこで求められるものを伝えたい。

自己紹介

1962年東京都生まれ。1985年東海大学海洋学部を卒業、国際航業入社。防災事業本部長、コンサルタント事業本部長を経て2009年7月、KOKUSAI EUROPE GmbH Managing Directorとしてドイツ勤務。2012年5月に帰国後、東日本事業本部副本部長。2013年5月代表取締役社長に就任、現在に至る。

M3 3D動向報告 Spar Point Group (代表) Lisa Murray, (SparView編集長) Sean Higgins, (SPARJ)河村幸二



M4 技術報告 村山利則



ライカジオシステムズ株式会社 測量・エンジニアリング営業部

テーマ

日本における三次元管理社会の到来とTLS計測に求められる条件

発表概要

2015年末に発表されたi-Constructionという電子国土管理の一つの方向性は、今まで民間主導で行われてきた三次元計測の分野に公的な裏付けを与える大きな契機となりました。それまでの三次元設計、三次元計測、三次元管理の方向性は、世界的に浸透し始めているBIM(Building Information Modeling / Management)をモデルとして、国内でも土木、建設分野で電子管理を展開しようとするCIM(Civil / Construction Information Modeling / Management)の漠然とした概念のもとで進められていました。

そのような背景のもとでのi-Constructionの発表は、国土交通省をはじめとする公的部門主導でのCIMによる効率的な電子国土管理実現の具体的な第一歩と言ってもよいものと考えます。

本発表では、最終的な電子国土管理を実現させるCIMにおいて、今後求められる三次元設計、三次元計測、三次元管理のうち、その構成の重要な位置を占める三次元計測分野において、活用の幅が大きく期待されるTLS(Terrestrial Laser Scanning)に焦点をあて、その計測に求められる最低限の条件を、国内でTLS市場の形成から今日に至るまで携わってきた立場から説明させていただきます。

自己紹介

村山 利則 (むらやま としのり) toshinori.murayama@leica-geosystems.com

2001年よりライカジオシステムズ株式会社において、地上型レーザースキャナ(TLS)の日本国内市場開拓に携わり現在にいる。